

日本常民文化研究所では、1983年より所員相互の検証・批判を経た研究成果を共有するために年数回、公開研究会「神奈川大学日本常民文化研究所研究会」を開催しています。研究水準の向上を図るため、所員・研究員だけでなく所外の研究者にも発表を依頼し、毎回テーマを新たに設定しています。2015年度は、100回を迎え、5回（通算第104回）開催されました。



写真1 第100回 重村力氏 会場風景



写真2 第101回 李京燁氏 会場風景



写真3 第102回 畠山聡氏による発表



写真4 第104回 全京秀氏による発表

## 2015年度 神奈川大学日本常民文化研究所研究会

回	テーマ	講師	日時
第100回	定住・生活空間の研究と計画学	重村 力氏 所員 工学部 教授	2015年5月20日(水) 17:30~19:00
第101回	韓国西海の波市研究 ——波市のパノラマ的風景と欲望の社会的表現——	李 京燁氏 国立木浦大学校 教授 客員研究員	2015年6月17日(水) 17:30~19:00
第102回	奥能登における真言宗寺院の年中行事を中心とした 民俗調査の成果と課題	畠山 聡氏 國學院大學 兼任講師	2015年7月15日(水) 17:30~19:00
第103回	二神系図と二神島墓制にみる「家」の成立と変遷	萬井 良大氏 客員研究員	2015年11月18日(水) 17:30~19:00
第104回	東アジア人類学の歴史はどのように書くべきか	全京秀氏 貴州大学 教授 客員研究員	2016年1月20日(水) 17:30~19:00